

研究・調査報告書

報告書番号	担当
216	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
<p>Maternal alcohol drinking pattern during pregnancy and the risk for an offspring with an isolated congenital heart defect and in particular a ventricular septal defect or an atrial septal defect.</p> <p>妊娠中の母親のアルコール摂取パターンと子の心室中隔欠損症および心房中隔欠損症のリスク</p>	
執筆者	
Strandberg-Larsen K, Skov-Ettrup LS, Grønbaek M, Andersen AM, Olsen J, Tolstrup J.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Birth Defects Res A Clin Mol Teratol. 2011 Jul;91(7):616-22.	
キーワード	
飲酒, 心室中隔欠損症, 妊婦, 心房中隔欠損症	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>本コホート研究は大量飲酒者, 妊娠中飲酒を含む母のアルコール摂取とその子の孤発性先天性心臓疾患, 特に心室中隔欠損症(VSD)および心房中隔欠損症(ASD)のリスクの正との関連について調査した。</p> <p>方法：</p> <p>1996-2002年に the Danish National Birth Cohort に登録した妊婦 80,346人と染色体異常がなく生きて生まれた単生児を対象とした。妊婦には妊娠中にアルコール摂取について2回質問した。the Danish National Birth Cohort 参加者のうち, アルコール過剰摂取および依存症の女性はほとんどいなかった。</p> <p>結果：</p> <p>国立病院の退院登録を用いて, 生後3年半以内に孤発性先天性心臓疾患と診断された477人の幼児 (VSD198人とASD145人を含む)を確認した。大量飲酒の回数も3つの発生期における大量飲酒もVSDとASDに関連していなかった。母体年齢や喫煙, 職業等で調整した子のVSDの有病率は, 母親の1週間の飲酒量0杯に対して, 1/2~1 1/2杯/週で1.22(95% CI = 0.90-1.66), 2杯/週で1.38 (95% CI = 0.83-2.28), 3杯以上/週で1.10 (95% CI = 0.54-2.23)だった。傾向性のテストは0.29だった。</p> <p>結論：</p> <p>妊娠期における母体への週あたりの低・中等度のアルコールの曝露もしくは妊娠初期の機会大量飲酒は子の孤発性心室中隔欠損症および心房中隔欠損症の有病率と有意な関連はみられなかった。</p>	